

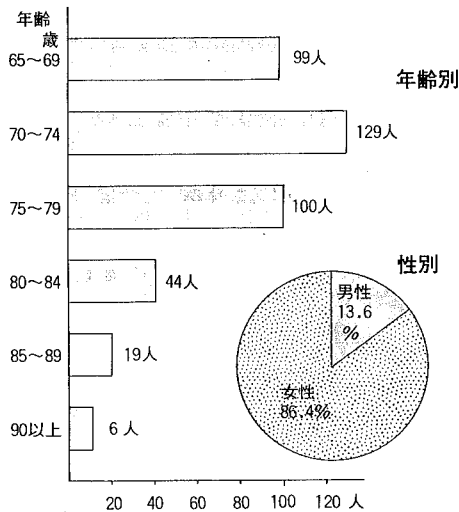
一人暮らしのお年寄り

アンケートの実施概要

実施期間 平成4年3月～5月
調査実施者数 444人
回答者数 397人
(男性54人、女性343人)

●性別・年齢別にみると…

この調査では、65歳以上の一人暮らしの方を対象者としています。他の調査と比べて、女性の割合が一段と高くなっています。年齢的には、80歳未満の方が8割を占め、高齢になるにしたがって、一人暮らしが難しくなることから少数となっています。また、女性では一人暮らしの期間が15年以上という方が3人に1人いて、これは男性の3倍になります。



(1) 一人暮らしになってからの期間は？

9.3%		33.7%
12.9%		12.6%
20.4%		21.4%
20.4%		13.2%
24.1%		12.0%
12.9%		7.1%
男性		女性

□15年以上 □10～15年未満 □5～10年未満
□3～5年未満 □1～3年未満 □1年未満

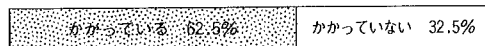
●健康状態はどうか

ほとんどの方が日常生活に支障ないとしていますが、かかっている病気については、多くの人が高血圧や関節炎・神経痛をあげています。これらは、寝たきりの原因となっている脳血管障害と並んで、55歳以上の方が治療を受ける割合の高い病気です。ふだんから健康についての注意が必要です。

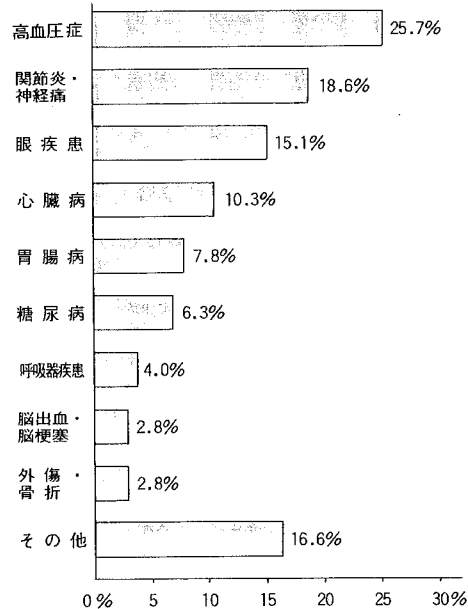
(2) 現在の健康状態はどうですか？

健康	21.2%
時々受診するが日常生活に支障はない	30.2%
定期的に受診するが日常生活に支障はない	34.8%
定期的に受診しており日常生活にも支障がある	11.6%
入院中、または主として寝ている	1.0%

▶病気にかかっている人の割合



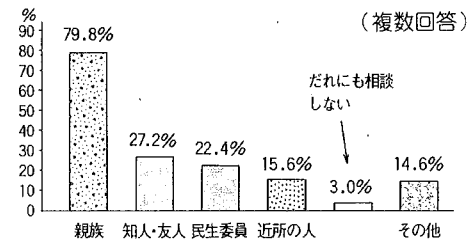
(3) どんな病気にかかっていますか？



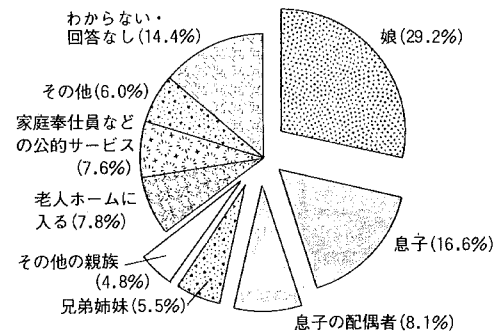
●困ったときは…

困ったときは親族に相談するという方が多いですが、知人・友人や民生委員にと地域にも相談相手を求めています。介護の依頼先は、6割が親族と回答し、中でも娘や息子の配偶者など女性に介護の期待が高いようです。

(4) 困ったとき、だれに相談しますか？



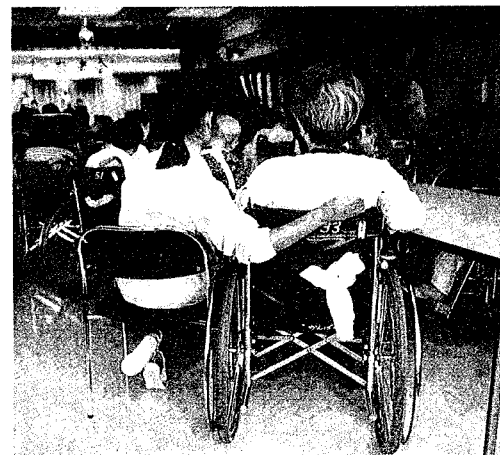
(5) 世話を受けなければならなくなったとき誰に世話を受たいですか？



若年層の意識調査

アンケートの実施概要

実施期間 平成4年12月(郵送)
調査実施者数 200人(50～55歳の市民から無作為に抽出した男女各100名)
回答者数 131名



写真：かんばらの里での敬老会から

今後の高齢者対策

▶今後高齢者対策で何に力を入れてもらいたいですか。(複数回答)

① 年金制度の充実	42.1%
② 病院、老人保健施設など医療保健施設の整備・充実	24.7%
③ ホームヘルパーなど、身の回りの世話をしてくれる人の増員	21.9%
④ 特別養護老人ホームの整備・充実	21.2%
⑤ 民生委員など地域で相談相手になってくれる人の増員	9.8%
⑥ 保健婦・看護婦による訪問看護の充実	9.1%
⑦ その他	45.9%
⑧ わからない	9.3%
⑨ 特になし	15.6%

●高齢化への不安

老人とは70歳以上だという回答が半数近くになりました。高齢になっていくことに対して、約85%の方が不安があると答えています。

将来の介護について、全体の70%以上が配偶者と答えており、その内訳を見ると男性は90%が妻に介護を期待しています。一方、女性で一番多い答えが息子の配偶者で55%でした。他の調査同様女性に介護を求める傾向にあります。

(1) 老人とは何歳くらいからと思いますか？

